



2024 年 12 月 5 日

農林中央金庫

生物多様性保全に貢献する国際金融公社発行のグリーンボンドへの投資について

～300 百万豪ドルの投資を通じて、国際金融公社とともに生物多様性保全を支援～



農林中央金庫(以下「当金庫」)は、国際金融公社(International Finance Corporation)が発行するグリーンボンド(以下「本債券」)へ総額 300 百万豪ドルの投資を実施しましたのでお知らせいたします。

本債券は「生物多様性の保全の啓発」を目的に発行されました。国連が提唱する 17 の持続可能な開発目標(以下「SDGs」)のうち、「⑮陸の豊かさを守ろう」の達成に貢献し、投資を通じて SDGs 達成へ取り組む重要性を国際金融公社とともに世界へ働きかけていくものとなっています。本債券は国際金融公社が初めて発行した生物多様性の促進を目的としたグリーンボンドであり、当金庫は全投資家のなかで最大規模の投資額を投資しております。

昨今、グローバルには、自然資本・生物多様性の喪失を食い止め、回復基調に乗せるための「ネイチャーポジティブ」の機運が年々高まっています。2024 年 10 月 21 日から 11 月 1 日まで、コロンビアのカリで開催された「生物多様性条約(CBD)」の第 16 回締約国会議(COP16)は、民間企業を含む様々なセクターから過去最大規模の参加者数となり、「昆明・モンリオール生物多様性枠組」(GBF)を着実に実施するための具体的な仕組みや今後の進め方について議論がなされました。

国際金融公社は、2022 年に生物多様性ファイナンスにかかる世界初のガイドとして「Biodiversity Finance Reference Guide」を、2024 年 10 月にはインパクト報告のための補助ガイダンス「Biodiversity Finance Metrics for Impact Reporting」を公表し、市場の拡大に主導的な役割を果たしています。本債券の資金使途もこのガイドに沿ったものとなります。

当金庫は、2021 年に「持てるすべてを『いのち』に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」をパーパス(私たちの存在意義)として決めました。農林水産業を支える協同組織の一員として、自らのビジネスが自然資本・生物多様性に立脚したものであるとの認識のもと、これまでも自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)のタスクフォースメンバーとして TNFD 提言開発への貢献や、企業における事業活動のネイチャーポジティブ転換を促進・支援することを目的とした国内金融グループ 4 社



による「Finance Alliance for Nature Positive Solutions (略称:FANPS)」¹の発足・参画などに取り組んでまいりました。2024 年 3 月には気候と自然の恵みを受ける「食と農」のサステナビリティを支える当金庫として、初めて気候と自然を一体的に捉えた「Climate & Nature Report 2024」²を発行しました。これらの取組みを加速するべく、本債券への投資を通じ、国際金融公社と当金庫がともに世界における生物多様性の保全やその重要性を啓発していくことを目指します。

また、当金庫は「パーパス実現のための重要課題」で掲げた環境・社会課題への対応として、2030 年度までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を 10 兆円とする目標を掲げており、持続可能な環境・社会や農林水産業につながる投融資を実践していくこととしています。当金庫は、自らのパーパスの実現・発揮に向けて、今後も様々な環境・社会課題の解決に貢献する投資に取り組んでまいります。

【本債券の概要】

発行体	国際金融公社 (長期債務格付: S&P“AAA”、Moody's“Aaa”)
投資額	総額 300 百万豪ドル (約 303 億円)
期間	10 年

【参考:プロジェクト事例】

ブラジルのセラード地域において、135,000 ヘクタールの森林保全と森林破壊 や土壌劣化の影響を受けた土地へ持続可能な形での植林を行い、10 億ドル相当の森林再生計画の推進に貢献する。

生物多様性と対象水域の健全性を高める特定の目標を満たした場合に、対象企業にとって恩恵を受けられるサステナビリティ・リンク・ローンの実施。

生態系の多様性を回復する取組みを通じて、自然ベースのカーボン除去クレジットを生成して、販売を行う。

*上記の参考事例については、プロジェクト事例紹介のみを目的としています。本債券で調達された資金の活用が、上記プロジェクトまたはその分野に限定されるものではありません。

以 上

¹ 2023 年 2 月 28 日に農林中央金庫、株式会社三井住友フィナンシャルグループ、MS & AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社、および株式会社日本政策投資銀行の金融機関 4 社により発足。
https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2023/finance-alliance-for-nature-positive-solutions.html

² Climate & Nature Report 2024 https://www.nochubank.or.jp/sustainability/backnumber/pdf/2024/climate_nature.pdf



農林中央金庫

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 コーポレートデザイン部 広報コミュニケーション班(宮澤、藏方)

TEL: 03-6362-7172